

イエスとは何者か

大学宗教主任

福嶋 裕子



イエスは言われた。
「それでは、あなたがたは私を何者だと言うのか。」

マタイによる福音書 16章15節

イエス様が生きていた時代、多くの人がイエス様が何者かを言い当てる
ことができませんでした。「洗礼者ヨハネのようだ」、「預言者エリヤのよ
うだ」といろんな意見がありました。

今の私たちは、キリスト教のおかげで答えることができます。聖書の続
きに書いてありますように、ペトロが言ったことが正解です。「あなたは
メシア、生ける神の子です」。メシアとは、ヘブライ語で「油、注がれた者」
を意味します。古い時代のイスラエルでは、「油」は「神の力」を象徴し
ました。油注ぎは、油を動物の角に入れて、頭から注ぐ儀式で、油を注が
れた人は王に即位します。王様は「神の力」を注がれた人なのです。その
儀式は、イエス様が生まれる一千年ほど前からありました。その一千年の
間に、メシアについての概念が変わっていきました。メシアとは単に王様
を指すのではなく、神によって力を与えられ、世界に平和をもたらしてく
れる人のことだと考えられるようになったのです。「世界平和」。聞くだけ
で、怪しい宗教のようです。しかし後一世紀のローマ帝国の住民は、切に
平和を求めています。現代と同じく、至るところで地震や洪水、疫病や

戦争が起きて、生きることの困難さを人々は経験していたからこそ平和を願ったのです。平和を実現させるリーダー、そのような意味でのメシアです。ただ問題は、どのようにして平和をつくり出すのか。

現代がそうであるように、イエス様の時代も意見が分かれていました。ある人々は、武力で平和を維持しようとします。ある人々は、経済の繁栄を求めます。ある人々は、政治権力によって平和を作り出そうとします。軍事力、経済力、政治的権力、このどれか一つを選びなさい。その力をあなたにあげよう、と言われたらどうしますか？

イエス様もこのことを考えられたようです。悪魔がイエスに囁きました。軍事力、経済力、政治的権力のどれか一つを、あるいはその全部をあげるから、悪魔と一緒に行動しよう、と（マタイ 4:1-11）。

イエス様の答えは、「否」でした。その代わりに「神の国」について教えられ始めました。「国」とは、ギリシア語では「バシレイア」と言います。バシレイアとは統治、支配領域のことです。神様は愛の御方ですから、「神の国」とは「愛が支配する場所、領域」になります。イエス様の教えをまとめると、神様の愛を「今、ここで」互いに示すことができるということです。その教えの通りに、イエス様は神の愛を実践されました。イエス様がなされたことを「イエス運動」あるいは「バシレイア運動」と聖書学では呼びます。神の愛を実践することは、簡単ではありませんが、その教えに共鳴する人たちはいたのです。

しかし「イエス運動」は挫折しました。リーダーだったイエスが、ローマ帝国の権力者によって殺されてしまいました。軍事力、経済力、政治の力を用いずに、個々人がその内側に持っている愛する能力に気がついて、その内面的な力によって平和をつくりだすことは不可能にさえ見えます。

「イエス運動」は、頓挫しました。しかし時代の中で何度も違う形で、さまざまな非暴力の形態をとって、イエスの精神、スピリットは息を吹き返し、バシレイアのビジョンは生き続けています。

皆様が、卒業後も、自分と他者が共にいきいきと生きる道はどこにあるのかを真摯に探求し、一生を賭けても良いと思えるビジョンを見つけ出せますように。